

臨床研究に関する情報公開

「急性骨髄性白血病寛解導入期における高尿酸血症治療薬の使用状況の調査」

へご協力をお願い

—西暦 2016 年 4 月 1 日～西暦 2020 年 9 月 30 日までに当院血液腫瘍科において急性骨髄性白血病の
治療受けられた方へ—

研究責任者 薬剤部 加藤 雄也

1. 研究の概要

1) 研究の目的

高尿酸血症治療薬の使用状況の変遷と治療効果を調査することにより、それぞれの薬剤の特徴を捉え
処方最適化を図る。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

期間内に新規に急性骨髄性白血病と診断された患者

2) 研究期間

2016 年 4 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日

3) 研究方法

電子カルテより新規に急性骨髄性白血病の診断がされた患者を抽出し、治療開始時の白血球数、治療
開始後の薬剤の処方状況、腫瘍崩壊症候群に関連する検査値の推移を調べる

4) 使用する試料の項目

特になし

5) 使用する情報の項目

研究対象者について、年齢、性別、高尿酸血症治療薬の処方情報、白血球数、尿酸値、電解質などの
検査情報を電子カルテより取得する

6) 情報の保存

取得した情報は匿名化し、院内ネットワークにて保存し、研究が終了後削除する

7) 研究資金源及び利益相反に関する事項

特になし

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計
画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における
個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母、
配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容につ

いてお分かりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報にならない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。あなたが研究を拒否された場合、これまで取得したデータは全て削除します。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。拒否される場合は、お早めにご連絡をお願い致します。

<問い合わせ・連絡先>

担当者：薬剤部 加藤 雄也

電話：0476-22-2311（平日：8時30分～17時00分）